

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	体 育				
教 科	保健体育科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系・理系)・進学(文系・理系)
使用教科書	特になし				
副教材等	特になし				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
 ②健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度の形成。
 ③心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○スポーツテスト ○集団行動 ○球技(7月上旬まで) ①卓球 ②バスケットボール ③アルティメット	現在の自分の運動能力・体力を知る ・ワークシート ・レポート ・スキルテスト など	10月	○球技(二学期終了まで) ①アルティメット ②卓球 ③バスケットボール	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト など
5月			11月		
6月			12月		
7月			1月		
8月			2月		
9月	○球技(10月下旬くらいまで) ①バスケットボール ②アルティメット ③卓球	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト など	3月	\	

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [スキルテストやワークシート、ルールテストなどを用いて評価する]
 ② 思考・判断・表現 [ワークシートやレポートなどを用いて評価する]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [出欠席や授業態度、ワークシート、レポートなどを用いて評価する]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	体 育				
教 科	保健体育科	単位数	4単位	学年・コース	高校3年 アスリート
使用教科書	特になし				
副教材等	特になし				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。
 ②健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度の形成。
 ③心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○スポーツテスト ○集団行動 ○球技(7月下旬まで) 【火】選択した球技を行う 【金】選択した球技を行う	現在の自分の運動能力・体力を知る ・ワークシート ・レポート ・スキルテスト など	10月	○球技(二学期終了まで) 【火】選択した球技を行う 【金】選択した球技を行う	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト など
5月			11月		
6月	12月				
7月			1月		
8月		2月			
9月	○球技(10月下旬くらいまで) 【火】選択した球技を行う 【金】選択した球技を行う	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト など	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能	[スキルテストやワークシート、ルールテストなどを用いて評価する]]
② 思考・判断・表現	[ワークシートやレポートなどを用いて評価する]]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[出欠席や授業態度、ワークシート、レポートなどを用いて評価する]]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	スポーツ科学				
教科	保健体育科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 アスリート
使用教科書	「現代高等保健体育(大修館書店)」 「現代高等保健体育ノート(大修館書店)」				
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① スポーツを多面的にとらえ、スポーツと社会のつながりを認知する。
- ② スポーツを科学の側面から学習し、スポーツにおける原理・原則等の知識を身につける。
- ③ スポーツ史、スポーツ生理、スポーツ心理、スポーツ栄養、トレーニング科学、解剖学を学習範囲とする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○オリエンテーション ○スポーツ史	・小テスト ・レポート ・個人発表 ・グループ発表 ・グループディスカッション	10月	○スポーツ栄養	・小テスト ・レポート ・個人発表 ・グループ発表 ・グループディスカッション
5月	○トレーニング科学		11月	○解剖学	
6月	○スポーツ生理		12月		
7月			1月	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(45deg);"></div>	
8月		2月			
9月	○スポーツ生理	3月			
	○スポーツ心理				

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|---------------------|---|
| ① 知識・技能 | [小テスト、レポート |] |
| ② 思考・判断・表現 | [レポート、個人発表、グループ発表 |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [レポート、グループディスカッション |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します